

(第6条関係)

事業概要書

事業名	松戸みまもり事業
団体名	Code for Matsudo
事業担当課	市民安全課

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>地域を活性し、市民の皆様安心して暮らしを送っていただくためには犯罪防止は避けて通れぬ課題であります。</p> <p>また、近年市内で痛ましい事件があり、市民の防犯に対する意識も高まっております。</p> <p>犯罪を防止し、犯罪から身を守る上で、犯罪発生 の 情報 を 得 る こ と は と て も 重 要 で す が 、 定 期 的 に 情 報 を 取 得 す る こ と は な か な か に 困 難 で あ り ま す 。 特 に 地 域 の 公 立 小 中 学 校 か ら の 防 犯 情 報 は そ こ に 通 っ て い る お 子 様 、 保 護 者 の 方 に は 伝 わ り ま す が 、 市 外 の 私 立 小 中 学 校 に 通 っ て い る ケ ー ス で は こ う し た 情 報 を 得 る こ と が で き ま せ ン 。</p> <p>我々は市からの情報、警察からの情報、公立小中学校からの情報、父兄の方々の口コミなどを集約し、防犯情報をまとめて得ることができる場が必要ではないかと考えております。</p>
事業の目的	<p>我々が開発している『松戸まもる君』を使った犯罪の可視化と防犯</p> <p>『松戸まもる君』とは： 松戸で発生した事件事故の情報を、集約・展開を目的にした Web サービスです。 我々独自に開発を進めており、現在はβ版としての公開準備を進めているところです。</p>
事業内容	<p>上記課題を解決するためには、幅広い情報を集約、及び展開が必要になり、我々が開発している『松戸まもる君』上でそれが実現できると考えております。</p> <p>具体的には</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・警察、市、クチコミ情報の集約</li><li>・地図による位置情報とのヒモ付けを持った形で情報を展開する。 ⇒特定の住所や駅、小学校の近くで検索可能とする。</li><li>・新規事件があれば登録されたメールアドレスに情報を送信する。</li></ul> <p>といった機能を考えています。</p> <p>※ただし、口コミ情報を筆頭に情報の正確性については不安が残る点であり、これについては、情報登録から公開までの間に審査を入れる、登録された非匿名ユーザーのみ情報の投稿が行える、などの対策を入れる必要があると考えております。</p>

	<p>これらを実現するにあたり、システム開発と並行して考えなければならない課題として、サービスの認知が大きな課題であると考えております。</p> <p>情報を得る側が本サービスを知らない限りは情報が届く仕組みではなく、我々がメインのターゲットとしている、子育て中のお母様に届けるためには大きな障壁があります。</p> <p>そういったお母様方に伝え、使っていただくためには認知し、理解し、信用していただくかなければなりません。</p> <p>小さな任意団体である我々が、多くのお母様方に知っていただくことは容易ではなく、市の広報力をお借りして、イベント等を開き認知を広めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、このツールを使い、見回りなどの防犯イベントを開催することにより、使い方の理解や信用にも繋げることができます。</p> <p>本活動は犯罪状況を可視化するだけでなく、可視化することにより危険を知らせ、防犯意識を高めることを目的としています。</p> <p>最終的にはそれにより、市の犯罪発生率を下げることに繋がる活動となると考えております。</p>
<p>協働の必要性</p>	<p>上にも書きましたが、我々には情報を市民に情報を周知させる広報力がなく、また防犯情報も持っていません。それらを市から提供していただくことで、市及び市民に対し、犯罪率の可視化、低下と言った効果を提供することが可能となります。</p> <p>本活動は、いかに多くの市民の方々に知っていただくかが、犯罪防止に繋がると考えており、そこには市との協働が不可欠と考えております。</p> <p>ぜひご協力をお願いいたします。</p>
<p>事業の目標</p>	<p>以下の項目を目標として掲げる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動初年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>-活用ユーザー;10,000人</li> <li>-防犯情報:1,000件</li> <li>-松戸まもる君を活用した防犯イベント3回</li> </ul> </li> </ul>

(第6条関係)

## 事業の予算概要

【労力換算（限度額算入）】

(単位:円)

区分	科 目	金 額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 148,192	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	金 額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 11,000	対象経費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (B)	¥ 11,000	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 97,000	
合計額 (D) = (B+C)		¥ 108,000	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の交付対象経費	報償費	¥ 45,000	イベント外部講師謝礼 5,000円×3名×3回
	消耗品費	¥ 14,000	模造紙、マジックペン、名札等 2,000円×7回
	使用料	¥ 14,000	イベント会場使用料 2,000円×3回 1,000円×4回 400円×10回
	賃借料	¥ 21,000	プロジェクタ 500円×7回 通信費(レンタルルータ) 2,500円×7回
	食糧費	¥ 14,000	イベント参加者向けお茶菓子 2,000円×7回
		対象経費の合計 (E)	¥ 108,000
(その他経費)	その他経費の合計額 (F)	¥ 0	
	合計額 (G) = (E + F)	¥ 108,000	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

# 労力換算計算書

(単位:円)

項 目		換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間回数×842円
	企画打合せ	50,520 円	3 人× 2 h× 10 回× 842 円
	イベント準備	30,312 円	3 人× 2 h× 6 回× 842 円
	市民ITカフェ開催	13,472 円	2 人× 2 h× 4 回× 842 円
	アイデアソン	26,944 円	4 人× 4 h× 2 回× 842 円
	ハッカソン	26,944 円	4 人× 8 h× 1 回× 842 円
			人× h× 回× 842 円
			人× h× 回× 842 円
			人× h× 回× 842 円
			人× h× 回× 842 円
			人× h× 回× 842 円
			人× h× 回× 842 円
			人× h× 回× 842 円
			人× h× 回× 842 円
			人× h× 回× 842 円
			人× h× 回× 842 円
	合 計 (A)	148,192 円	